

# 令和3年度 9月の補導活動

佐久市少年センター

1	街頭補導実施回数	14回
2	延べ従事補導委員数	21人
3	相談件数	0件
4	補導した少年数	0人
5	声かけ人数	30人



## 9月の補導日誌から

9月1日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 泉児童館 → 岸野児童館 → 野沢体育センター → 野沢会館  
→ 県民佐久運動広場 → 野沢児童館 → 中嶋公園 → 原公園 → 城山公園

### 補導の様子

9月に入り、児童館の利用児童は減少していると各館の館長さんから伺った。中学、高校の通学路では下校する生徒の姿が多く見られた。部活動の制限があり、いつもより下校時間が早いことが理由と思われる。野沢会館の自習室では、高校生約20人が張り詰めた雰囲気参考書等を開いていた。管理員の方から「今日は少ないです。」と伺った。自習室入口には『命と暮らしを救う対策期間』として3日から12日までは使用できない旨の表示があった。県民佐久運動広場では、父親と幼児2人がキャッチボールをしていた。父親の穏やかな言葉かけが印象的であり、子どもの動きが嬉しそうに見えた。原公園には小学生約10人が遊具で遊んだり、走り回ったりしていた。城山公園では、芝生の上で8人の小学生がサッカーに興じていた。子どもが広い公園で元気いっぱい遊ぶ姿を見て心が安らぐ思いであった。

9月3日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 若宮児童公園 → 岩村田駅 → 大型ゲームセンター →  
ビデオ販売&書店 → ネットカフェ → ゲームセンター → 一本柳公園

### 補導の様子

若宮児童公園では、人影は見られなかったが、石柱に修復あとのあった大きな鳥居が取り払われていた。大きな地震があったらと不安が残る場所であったので安心した。岩村田駅では、学校帰りの生徒たちが列車の時間に合わせて集まりつつあった。大型ゲームセンターでは、大人の他、親子連れの姿も目立った。お店の人に伺うと、「小中学生には必ず声をかけ、保護者と一緒かどうか確認している」と話してくれた。ビデオ販売&書店とネットカフェは、どちらもお客さんの入りは悪くないという。子どもの来店はないということだった。もう一か所のゲームセンターでは、大人が3~4人利用しているだけであった。子どもの利用は、土・日が多く親子連れで訪れるということだった。一本柳公園は、子どもたちが遊んでいることが多いが、今日は雨上がりで肌寒いこともあってか利用者はいなかった。

9月6日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** あさしな児童館前及び小学校通学路 → 下原公会場ひろば → こどもひろば  
→ 庄ノ上公園 → コンビニ → カラオケ店 → こまよせ児童公園

#### 補導の様子

あさしな児童館の庭で館長さんが4人の児童と遊んでいた。児童館前の道路は、迎えの自動車が連なり、隣接の浅科小学校の児童の下校時間と重なる時間であったが、児童は交通安全に留意して歩行していた。遊具が設置されている「こどもひろば」に幼児2人と母親が遊んでいたのであいさつを交わした。コンビニに立ち寄り店長さんに最近の様子を伺った。子どもだけで商品購入をする例はないことを確認できた。別のコンビニ店隣接のカラオケ店は、1日の利用者が平均6～7人と減少傾向にあり、高校生以下の利用は皆無と伺った。下校途中の中学生は、「今週は部活をしない期間です。」と話してくれた。小学校と中学校は豊かな田園地帯の中にある。自動車がほとんど通行しない農道の通学路で会う子どもたちの表情に下校時間のリラックスした雰囲気を感じられた。

9月7日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 中込地区内の公園(佐久総合運動・内山松井地区・旧平賀保育園跡地・平賀神社・アベニュー区・平賀新町・水上・橋場・成田・成知・佐太夫町・横町)

#### 補導の様子

佐久城山小学校と中込小学校の通学路を巡回しながら、児童生徒の放課後の様子を確認するため、両校の校区内にある公園や広場を訪問した。巡回時間がちょうど児童の下校時間帯と重なり、大勢の児童が家路に向かっていった。特に問題となるような行動は見受けられなかった。佐久総合運動公園では、都市対抗野球大会等全国大会に何回も出場したことがある県外の社会人野球チームが練習をしていたが少年の姿はなかった。アベニュー区内の公園では、男子小学生が一人でタイヤがついたブランコで遊んでいた。成知公園には、約20名の児童と未就学児童がブランコ、滑り台などの遊具で遊んだり追いかけてっこしたりして公園内を駆け回っていた。他の公園や広場には、人影は全くなかった。



9月8日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** アミューズメント施設(ゲームコーナー・映画館) → 佐久平浅間児童館  
→ ボウリング場

#### 補導の様子

アミューズメント施設内のゲームコーナーに成人2人がいた。映画館の売り場には数人がいた。カラオケコーナーはしばらく前から休業しているとのこと。佐久平浅間児童館を訪問して玄関先で館長さんから近況を伺った。「利用児童は最大時と比べ、現在、『命と暮らしを救う対策期間』ということもあり、約10名は減少している。」と話された。ボウリング場を訪問すると、新規に、「スーパーボールすくい・わなげ・わたあめ」のコーナーがあった。駐車場には「ラジコン」のレースコースが敷かれ、ボウリング以外での子どもが遊べる多様な内容があることを理解した。中・高校生や児童の姿は見えなかった。

9月9日(木) 学校訪問(佐久平総合技術高校 浅間キャンパス) 専門補導委員 記

**概要**

県内初の総合技術高校として開校して今年度で7年目を迎えた。「佐総(さつそう)」という校名が広まるとともに、全国大会出場や北信越大会出場を果たした部活の活躍や検定に向き合う姿勢など、元気な生徒の様子が伝わってくる学校訪問でした。教頭先生から地域の産業を担う人材育成を目標に一層の地域連携を模索しているとのことでした。生徒指導の課題は、交通事故の防止とインターネット・SNSに関わる諸問題の防止と伺いました。

9月10日(金)

専門補導委員 記

**巡回経路** 離山南ミニパーク → 田口小、田口児童館周辺 → 五稜郭公園  
→ 大宮諏訪神社 → 下越公園

**補導の様子**

田口小、青沼小学校区の公園・通学路を中心に街頭補導を行った。利用者はいなかったが、離山南ミニパークには盛り土の上に東屋、また周囲に木々やベンチが巧みに配置されていてくつろげる空間になっていた。田口小、田口児童館周辺の通学路では、下校後の子どもたちと大勢すれちがった。右側を一直線できちんと歩いていて、道幅の狭い道でも危ない様子はなかった。入沢の大宮諏訪神社境内には、遊具が配置されていて敷地も広いので、子どもたちにはよい遊び場と感じた。下越公園では中学生が自転車で訪れ、ベンチで楽しそうにおしゃべりをしていた。



9月13日(月) 学校訪問(野沢北高校)

専門補導委員 記

**概要**

今年度、創立120周年をむかえる伝統校。教頭先生と生徒指導主事の先生に「北高」の現在の様子を伺いました。「真善美 ひたに追いつつ 眉あげよ われら朋がら」を標榜しており、校章「日輪」のように、普通科と理数科の生徒が文武両道と先端のICTによる探究的学びに日々励んでいることが理解できました。生活指導の課題の一つは交通事故の防止。自転車通学者と自動車の接触事故が4件発生した。イヤホンをつけながらの自転車運転禁止等の指導もしている。6人程のバイク通学許可生徒には年1回の講習を義務付けているとのこと。二つめはスマホやSNSの利用方法について、入学早々に事例をあげて指導をしたとのこと。今のところSNS関係の問題はないと伺いました。

9月14日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 佐太夫町公園 → 中込公民館 → 横町公園 → 水上公園 → 橋場公園  
→ 成田公園 → 平賀新町公園 → 中込中学校周辺通学路  
→ 佐久総合運動公園 → 成知公園 → カラオケ店

**補導の様子**

中込公民館では、新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベルが下がったことに対応して、昨日から2階の学習室が開館し、早速14~15人の中高生が利用したそうです。学習室は、13名までの人数制限と2時間以内の時間制限を設け、定員を超える場合は、別の部屋を用意してあるそうです。駅の近くでもあり、生

徒たちにとっては有用な施設と感じました。中込中学校近くの通学路では、生徒の方からあいさつをしてくれました。成知公園では、12～13 人の小学生が自転車で訪れ、遊具で遊んだり、おしゃべりしたりで楽しそうでした。カラオケ店では、高校生がグループで訪れ、よく利用しているそうです。また、使用後の部屋を丸ごと紫外線で殺菌できる機械を導入したお話もうかがいました。

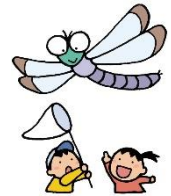
9月15日（水）

専門補導委員 記

**巡回経路** 中嶋公園 → 原公園 → 高柳公園 → 鍛冶屋公園 → 東田公園  
→ 野沢会館

#### 補導の様子

原公園には、虫捕り網を手にして虫を追いかける男児や母親と一緒に遊具で遊ぶ未就学児童の姿があった。また、東屋で頭を接するようにしながら何かに集中している2名の男子児童がいた。声かけしたところ、二人とも小学6年生で「ポケモンゲームをやっています」とのことだった。早目の帰宅を促してその場を離れた。鍛冶屋公園には、4名の児童がシーソーで遊んでいた。野沢会館自習室には、約10名が静かに勉強をしていた。他の公園には人影はなかった。



9月16日（木）

専門補導委員 記

**巡回経路** 猿久保公会場 → 浅間会館 → 王城公園 → 鼻顔公園 → 岩村田公園  
→ 岩村田小学校・岩村田児童館周辺通学路 → 岩村田駅 → 枇杷坂公園  
→ 若宮児童公園 → 市民交流ひろば

#### 補導の様子

王城公園では、4人の未就学児がジャングルジムに似た遊具で遊んでいた。「近所の子も一緒に遊びにつれてきた」と見守る父親が話してくれた。鼻顔公園の駐車場は10台近くの車が停まり、公園をのぞくと最近では見られなかった大勢の親子連れで賑わっていた。天気も良くさわやかな風が吹いていたので、外遊びには格好の日和だからだろう。岩村田公園では、学校帰りの児童がかばんをおろして10人程で遊んでいた。通学路では、学校帰りの大勢の児童に会った。学校周辺の通学路は、住宅街で幅員が狭いところが多いが、一列で整然と歩き、また何人かに一人が横断旗を持って交差点で使っている姿を見て、安全に配慮されているなど感じた。どこの公園も親子連れの利用者が多く感じた。

9月17日（金）

専門補導委員 記

**巡回経路** 望月小・中学校通学路及び周辺の公園（布施温泉・若駒児童・佐久良）

#### 補導の様子

望月小・中学校区内の通学路を中心に街頭補導巡回を実施した。中学生の姿はなかったが、家路に向かう下校中の小学生に行き合った。道路の右側を整然と通行しており、またふざけながら歩いている児童はおらず、きちんとした下校風景だった。布施温泉公園・若駒児童公園・佐久良公園・望月バスターミナル等を巡回したが児童生徒の姿はなかった。帰庁に向かう途次、再度望月児童館前を通った時、駐車場のフェンス脇で数名の児童が遊んでいた。保護者の迎えが来るまでの時間を惜しみ友達と遊んでいるのかなとほほえましく感じた。

9月21日(火)

専門補導委員 記

**巡回経路** 旧前山小学校グラウンド → 旧大沢小学校グラウンド  
→ 下の宮児童公園 → 切原児童館・切原小学校前 → 稲荷山公園

### 補導の様子

旧前山小・旧大沢小学校跡地のグラウンド・下の宮児童公園内には人影はなかった。切原児童館には立ち寄らなかったが、館内から大きな声が聞こえなかったので、静かに過ごしているものと思われた。切原小学校の通学路に下校中の児童生徒の姿はなかった。稲荷山公園で来園者に声かけをしたところ、未就学児2名を連れてきた父親、中佐都から来た2組の親子、中間テスト終了後の2名の女子高校生などがいた。穏やかな秋のひとコマが垣間見えた街頭補導巡回でした。

9月22日(水)

専門補導委員 記

**巡回経路** 東・浅間中学校区内の通学路及びその周辺の公園(駒場区・鼻顔・紅雲台区・下平尾区・市民交流ひろば・ミレニアムパーク)等

### 補導の様子

普段の街頭補導活動で多くの公園を訪問しているが、訪問する機会が少ない住宅地にある駒場区の公園、紅雲台区の公園、下平尾の公園を訪問したが人影はなかった。鼻顔公園には親子が数組いた。市民交流ひろばには、多くの児童等が遊具で遊んでいた。2名の女子高校生が東屋にいたので、声をかけたところ「今、テスト期間中で勉強をしています」とのこと。教科書を出して真剣に勉強しており、笑みを浮かべながら真摯に答える姿がとてもさわやかだった。

9月24日(金)

学校訪問(地球環境高校)

専門補導委員 記

### 概要

教頭先生から学校の様子や生徒の実情などを伺いました。「来年度開校20周年を迎える通信制高校であり、佐久本校と長野学習室と飯田学習室で学ぶ生徒は合計180名です。『「地球環境」ならではの教育』を学校目標に生徒と教師、生徒同士の心と心が触れ合う場を大切にして、コミュニケーションスキルを身につけ、アイデンティティー(自分の存在意識)をもった生徒を育成することを教育方針にしています」と説明を受けました。非行等の問題行動は、現在はないとのことでした。修学旅行を実施していると伺いました。

9月27日(月)

専門補導委員 記

**巡回経路** 大型ゲームセンター → ネットカフェ → ゲームセンター  
→ 曾根公園 → 仙祿湖公園 → アミューズメント施設



### 補導の様子

大型ゲームセンターでは、5~6人の小学生が魚釣りゲームを楽しんでいた。大人の利用者の数はいつも通りのように思えたが、この時間にしては小学生の姿が目立った。帰りがけに入り口付近にいた親子に聞くと、「運動会の振り替え休業日で遊びに来た」ということだった。ネットカフェでは、高校生は来ないという。個室なので、利用客はコロナ以前とはいかないものの戻ってきつつあるようだ。もう一つのゲームセンターでは、子どもたちは見られなかった。仙祿湖公園には、何組かの親子連れが訪れ、ボール遊びを楽しんでいる様子が見

られた。アミューズメント施設のゲームコーナーは、模様替えがなされていた。  
1組の親子が訪れていた。

9月28日(火) 学校訪問(中込中学校) 専門補導委員 記

### 概要

生徒指導主事の先生に対応していただき、最近の学校の様子を伺うことができました。「文化祭は、保護者の来校を見合わせて開催した。行事は感染症拡大の様子を見ながら実施できた行事もあるが、断念したものもある」とのこと。修学旅行の日程を1泊2日に変更して実施を検討していると苦慮されていた。SNSに関係する問題は若干あるということですが、全体的に生徒が落ち着いて学校生活を送っている様子を伺うことができました。

9月29日(水) 専門補導委員 記

**巡回経路** 市民交流ひろば → ミレニアムパーク → 大型スーパー(フードコート・ゲームコーナー) → 公園(近津南・ねむのき・やまぼうし・若宮・一本柳)

### 補導の様子

温かい青空の夕刻の時間を惜しむように多くの人出があった。市民交流ひろばの遊具の周辺や芝生では大勢の園児が保護者と一緒に遊んでいた。ミレニアムパークのスケートボード場はボードや自転車の練習をする3組の小学生の親子連れを含め、熱心にボード練習する若者が大勢いた。大型スーパーのフードコートでは5組の高校生が勉強をしていた。中間審査中であると聞いた。ゲームコーナーの係員は「利用者は増えてきた」と話してくれた。新型コロナの感染状況が落ち着いてきたことが背景にあるのではないかという。他の公園を巡回したが、どの公園も中学生の姿が目立った。



9月30日(木) 学校訪問(長野西高校望月サテライト校) 専門補導委員 記

### 概要

学校の概要や生徒の様子などを副校長や生徒指導主事の先生からお聞きすることができた。通信制の高校は、基本的に生徒が自学自習で学び、レポートの添削指導のやり取りで学んでいることやそれぞれの生徒の事情に応じて自分のペースで学ぶことができることがわかった。望月サテライト校の独自の特色は、毎日来る必要はないが、週5日登校し学ぶことができることと、体験的な活動(農業体験、ゴルフ場体験、書道体験、乗馬体験、ヨガ体験など)を多く取り入れていることだった。さらに対人関係やコミュニケーション力を高めるためソーシャルスキルトレーニングも取り入れている。生徒や時代のニーズに合わせて特色を出そうとしている様子をうかがって感心した。学校には校則的なルールはないが、生徒は社会の一般的なルールに則った生活をしており、生徒指導上の問題はないということだった。

## 《 連絡 》

- (1) 10月は、補導委員と学校の先生方と合同街頭補導をおこなっています。
- (2) 補導委員各位：ご担当の街頭補導日にやむを得ず欠席される場合は、事前に**少年センターTel 62-0671**、または班長(理事)さんへ連絡をお願いします。